

令和6年6月18日

八頭町議会
議長 尾島 勲 様

産業福祉常任委員会
委員長 栄田 秀之
(公印省略)

産業福祉常任委員会視察調査研修報告書

八頭町議会産業福祉常任委員会は、令和6年4月24日に調査研修を終了したので、八頭町議会会議規則第77条の規定により、別紙のとおりその結果を報告する。

産業福祉常任委員会視察調査研修報告書

日時：令和6年4月24日（水）

委員：産業福祉常任委員会

委員長 柴田 秀之 副委員長 矢部 啓祐

委員 中村 美鈴 委員 前田 幸己

委員 岡嶋 正広 委員 川西 聡

委員 奥田 のぶよ

随行員 議会事務局 林 孝昌

場所：岡山県総社市

目的：障がい者の雇用・就業支援及び、ひきこもり支援について

対応者：総社市

研修内容

総社市で、障がい者の雇用、就業及びひきこもり支援について研修を受けた。総社市は、総合計画に沿って、福祉王国プログラムを組み、出生、就学、老後について地域と行政が一体的に取り組める体制を目指している。その中に障がい者支援、ひきこもり支援がある。

1. 障がい者大綱を定めて、それをもとに障がい者 1500 人雇用を目指して、生活の質の向上につながる支援を推進している。ハローワーク内に「就労支援ルーム」を開設し一体的支援をしている。現在の就労者数は1331人。障がい者が、まちを元気にしてくれている。障がい者が主役のまちづくりを進めている。障がい者に理解ある社会になってほしいと願っている。

2. ひきこもりからの社会参加 200 人の達成を目指している。令和6年度目標は100人で、現在の実績86人。

ひきこもり支援は、平成29年度から市の単独事業として支援を展開。実務は、委託により社会福祉協議会が実施。支援センターを設け4人体制で相談支援を行い、自宅訪問等を行い生活困窮センターと連携し支援をしている。ひきこもりの常設居場所を2か所設けている、どちらも1軒家で、サポーターを養成し居場所の運営を行っている。

【まとめ】

総社市は、困っている仲間を支えよう、子どもと仲間を増やそう、仲間と力を合わせよう、だれもが安心して住みたくなるまちづくりを目指している。片岡市長自ら、障がい者が自立すれば、みんなが元気になれると旗を振っている。八頭町もそうありたいと思った研修であった。